

## JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第56回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第148回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第149回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第150回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

### ◇日本惑星科学会第56回総会議事録

日時:2021年9月17日(木) 16:20-17:20

場所:オンライン開催

正会員数:620名

定足数:62名

参加人数:146名(最終参加人数)

委任状:48通(議長:45通, 中村 昭子会員:1通, 奥住 聡会員1通, 瀧 哲朗会員1通)

#### 1. 開会宣言

保井総務専門委員長が開会を宣言した。

#### 2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に黒川 宏之会員, 書記に金丸 仁明会員が選出された。

#### 3. 議事

##### 3.1. 審議事項

##### ・第16期下期一般会計・特別会計予算案の報告(佐伯財務専門委員長)

2021年度の予算執行状況について説明がなされた。

2021年度には, 学会の事務体制移行費用が盛り込まれることなどが説明された。

##### ・日本惑星科学会会則の改訂について(保井総務専門委員長)

現行の会則には学生会員の職業に関する条件が記載されていないため, 「常勤職に就いていない」を追加するこ

と(第2章第5条)が提案された。

遊星人購読を目的とした購読会員を「準会員」から「会員」に変更し、それに伴う会則の改定(第2章第5条及び第6条)が提案された。

#### ・大型研究計画への対応について(竝木副会長)

大型研究計画への惑星科学会の対応について報告がなされた。

惑星科学会でとりまとめた方針を一次案として日本学術会議に提示する予定であるが、総会での承認が間に合わないため、運営委員会に一任してもらうことを希望する旨が説明された。

#### ・質疑応答及び討論

質問なし。

#### ・採択

審議事項の採決が行われ、賛成: 193(うち出席者145名)、反対: 0、保留: 1(うち出席者1名)により採択された。

### 3.2. 報告事項

#### ・自然災害に伴う会費免除措置について(佐伯財務専門委員長)

自然災害に伴う会費免除措置(2021年12月中旬締切)について説明がなされた。

#### ・2021年度秋季講演会開催報告(渡邊2021年秋季講演会組織委員長)

2021年度秋季講演会の実施状況について報告がなされた。

当初の計画では、現地とオンラインのハイブリッド開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令のため、完全オンライン開催へと変更された。

発表件数(口頭86件、ポスター84件、最優秀発表選考9件、合計179件)や参加登録者数(合計264名)についての説明と収支報告がなされた。

会議ツールの運用経験不足や過密な講演スケジュールなど、仮にハイブリッド開催した場合に予想される困難な点について議論がなされた。

昨年度の秋季講演会は2セッションを並行して行った実績があるが、なぜ今年度はシングルセッションで行ったのかという質問がなされた。ハイブリッド開催からオンライン開催への移行に伴うコストや人手を軽減するためとの回答がなされた。

ハイブリッド開催の場合は、ポスター発表はどのような形式をとる予定であったのかという質問がなされた。発表資料を事前にSlackで共有し、現地では、ポスターボードにポスターを掲示し、各自のパソコンを用いて中継する予定であったとの回答がなされた。

#### ・2022年度秋季講演会開催案内(百瀬2022年秋季講演会組織委員長)

2022年度秋季講演会の開催計画と予算計画について報告がなされた。

開催期間は、2022年9月20日-22日の3日間であり、茨城県水戸市内のザ・ヒロサワ・シティ会館を予定している。現地とオンラインのハイブリッド開催となる場合、あるいは完全オンライン開催となる場合の対応は未検討である。

秋季講演会の開催時期は、年によって9月または10月と異なり、最優秀発表賞エントリーを希望する9月卒業の博士学生の発表機会を考えると不公平になるのではないかとの問題提起がなされた。講演会LOCの立場からの意見としては、授業期間が始まる10月は大学の施設が会場として押さえづらくなるため、9月の方が開催しやすい

との意見が出された。

・学会公式Twitterアカウントについて(奥住広報専門委員長)

惑星科学会内外に過去の遊星人記事を発信していく取り組みについて報告がなされた。

3.3 学会賞授賞式:2021年度最優秀発表賞(中島学会賞選考委員長)

2021年度最優秀発表賞について、審査結果の発表がなされた。

11名がエントリーをし、審査資格を満たす9名が本審査に進み、選考は全てオンラインで行われた。選考の結果、紅山 仁会員が最優秀発表賞受賞者に選ばれた。

4. 議長団解任

5. 閉会宣言

保井総務専門委員長が閉会を宣言。

以上

## ◇日本惑星科学会第148回運営委員会議事録

日時:2021年9月16日(木)17:30-19:30

場所:オンライン(Zoom Meeting)

運営委員:

出席者22名

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席者1名

白井 寛裕

オブザーバー:

城野 信一(2021年秋季講演会組織委員)

北里 宏平(総務専門委員)

議題・報告事項:

1. 2021年秋季講演会について(城野 2021年秋季講演会組織委員)

・当初はオンラインと対面のハイブリッドを予定していたが、緊急事態宣言を受けてオンラインのみに変更して開催した。

- ・口頭発表86件, ポスター発表84件, 最優秀発表賞9件, 参加登録者264名.
- ・収入86万円, 支出21万円(アルバイト代15万円, 会議ツール関連6万円).
- ・現地経費が減ったため60万円ほどの黒字.
- ・来年は会費の切り替え等を事前に考えて黒字を抑える工夫をした方がよいとの意見があった.

## 2. 2022年秋季講演会実施案(百瀬 2022年秋季講演会組織委員長)

- ・日程は2022年9月20日(火)から22日(木)の3日間.
- ・9月23日(祝)に一般向け講演会を予定.
- ・懇親会の実施検討はペンディング.
- ・会場はザ・ヒロサワ・シティ会館(水戸駅から徒歩15~20分).
- ・水戸市からの会議開催補助金を獲得できる見込み.

## 3. 第16期下期一般会計・特別会計予算案説明(佐伯 財務専門委員長)

- ・第16期上期の予算執行状況と併せて説明がなされた.
- ・2022年度の収入は2021年度と大きな変更なし.
- ・学会事務体制移行費用は臨時予算で対応する.
- ・イーサイドとの契約は今年度, 1年契約で更新した.
- ・学会サーバの維持更新費用は2019年度から4年間の契約になっている.
- ・秋季講演会の保育補助費について, LOC予算ではなく学会予算から支出することの確認がなされた.

## 4. 自然災害に伴う会費免除措置等について(佐伯 財務専門委員長)

- ・2021年度(1~12月)に自然災害で災害救助法適用地域となった場所を対象とする.
- ・適用地域以外で同等の災害にあった場合やコロナで経済的に困っている場合も相談に応じる.
- ・2021年12月中旬を締め切りとして, 近日中にomlで周知する予定である.

## 5. 日本学術会議大型研究計画について(竝木 副会長)

- ・2021年8月2日から27日まで大型研究計画への提案の受付を行った.
- ・3件の応募があり, それらの提案について2021年9月1日に公開の説明会を開催した.

## 6. 学術会議マスタープラン2023への提案に関する取りまとめ一次案(荒川 将来計画専門委員長)

- ・上記の大型研究計画への提案について, 作業部会でまとめられた一次案の説明がなされた.
- ・秋季講演会期間中に学会員向けの説明会を予定している.

## 7. 事務局体制移行作業の現状報告(中本 事務局体制検討部会長)

- ・2022年の体制について各方面との交渉を行っている.
- ・2022年は基本的にイーサイド, 2023年1月から新業者に委託する方針である.

## 8. 入退会状況報告(保井 総務専門委員長)

- ・会員数に大きな変動はないことが報告された.

## 9. 第56回総会の議長・書記の推薦について(保井 総務専門委員長)

- ・議長に黒川 宏之会員, 書記に金丸 仁明会員が推薦され, 承認された.

## 10. 会員種別に関する会則及び会員種別表の改訂について(保井 総務専門委員長)

- ・学生会員について現行の会則では職業に関する規定がないため、「常勤職に就いていない」と条件を追加すべきとの提案がなされ、承認された。
- ・購読会員について現行の会則に記載がなく、遊星人を営利目的で販売しているという誤解を受ける可能性がある。
- ・購読会員を会員とする規定を会則に追加すべきとの提案がなされ、承認された。

## 11. 日本学術振興会育志賞の推薦状況について(保井 総務専門委員長)

- ・前回の運営委員会からの継続で、育志賞の推薦回数が少ないことについて問題提起がなされた。
- ・議論の結果、積極的な応募を呼びかけるようにする一方で、候補者の選出は現行のやり方を維持することとした。

## 12. 2021年度最優秀発表者選考結果について(中島 学会賞選考委員長)

- ・11名の応募があり、2名が資格を満たしておらず、9名を審査対象とした。
- ・選考委員会からの推薦に基づき、紅山 仁会員を受賞者として決定した。

## 13. 学生発表賞のあり方について(中島 学会賞選考委員長)

- ・学会賞選考委員会の中から、本学会の学生発表賞はSGEPSSなどのそれと比べて厳しいのではないかとの意見があった。
- ・本学会の受賞者数は1名ないしは2名であるのに対し、SGEPSSのオーロラメダルは10名弱。
- ・発表賞に限らず学生を総合的に歓迎する仕組みを考えるべきである。
- ・議論の結果、学生を歓迎する仕組みを含めた発表賞のあり方について、学会賞検討作業部会で追加検討することとなった。

## 14. 学会賞新設の検討および最優秀研究者賞評価方法の再検討に関する報告(田中 学会賞検討作業部会長)

- ・学会賞選考委員から研究業績で評価しにくい研究を対象とした賞の新設の要望があったことを受けて、検討した結果の報告と提言がなされた。
- ・最優秀研究者賞と同様な年代を対象とした新しい学会賞の創設は、賞の価値、受賞者の利益という観点から良い案とは思われない。
- ・最優秀研究者賞でより幅広い人材を受賞できるようにするには、研究評価基準の見直しが必要の要素であるが、従来選考においても論文業績のみではない。
- ・選出されにくい分野により候補者がいる場合、3名選出とすることで当該研究者も選出することは、分野間のバランスを取る上で良い案であるかもしれない。
- ・受賞者年齢制限を40歳まで引き上げれば、長期間を要する研究を受賞しやすくなるのに有効かもしれない。
- ・機器開発などに特化した賞とするとそれ以外の研究をディスカレッジする恐れがある。
- ・JpGUの宇宙惑星科学セクションで賞を新設するのも一つの手である。
- ・議論の結果、検討結果は共有するものの、賞の新設や評価方法の変更は見送ることとした。

## 15. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)

- ・つつがなく発行できている。
- ・編集専門委員会の中から、一般の査読論文が少なくなってきたとの意見が出ている。
- ・奥住委員をゲストエディターに迎えた特集「惑星形成論の現在(仮)」を企画している。

- ・2021年の3月号と6月号において賛助会員名簿が不掲載であったことが判明した。
- ・9月号から名簿の掲載を再開し、謝罪文を併記した。
- ・議論の結果、追加の対応で会長名の謝罪文と無料広告掲載の案内を直接賛助会員へ送付することとした。

#### 16. 編集専門委員の変更(辞任)について(三浦 編集専門委員長)

- ・渡部 潤一会員より編集専門委員の辞任申し入れがあったとの説明がなされ、渡部会員の2021年9月末での辞任が承認された。

#### 17. その他

- ・奥住委員より学会公式Twitterアカウントの運用を開始した旨、報告がなされた。

以上

## ◇日本惑星科学会第149回運営委員会議事録

**期間:**2021年10月1日(金)～10月4日(月)

**議題:**学会賞検討作業部会の期限延長と部会員の追加について

#### 運営委員会委員:

出席(23名)

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 白井 寛裕, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席(なし)

**成立条件:**期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす。

**議決方法:**上記期間内に steering-ml@wakusei.jp 宛に投票。

#### 議題:

学生賞検討部会の期限を延長し、学生発表賞等について検討する。  
これにあたり、部会員を追加する。

#### 提案内容:

延長目的: 学生会員を対象とする賞等に関して、学生をよりエンカレッジする観点から国内外他学会の例を参考に検討する。

**新部会員:**寺田 直樹, 三浦 均

**期限:**2022年末まで

**審議結果:**議題は原案のとおり承認された(可23・否0)。

以上

## ◇日本惑星科学会第150回運営委員会議事録

**期間:**2021年10月7日(木)～10月11日(月)

### 運営委員会委員:

出席(23名)

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 白井 寛裕, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席(なし)

**成立条件:**期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす。

**議決方法:**上記期間内に steering-ml@wakusei.jp 宛に投票。

### 議題:

事務局移行作業に伴う会則の変更予定について, 以下の題目を討議する。

1. 添付した規約の承認を行う。
2. 次の総会で, この規約を会則に反映させた以下の変更案を承認する。

### 議案:

背景:

事務局移行に関連し, 会費振込を受け取るうちよ銀行口座を新たに作りたい。

そのためには会則に事務所の所在地と会計承認・報告の方法が明記されている必要があることがわかった。

また, 会則への記載は必須ではないが, 設立年月日を示す文書が必要であることもわかった。

会則の変更は来年5月の総会で承認されて完了するが, その前に運営委員会で会則変更予定の承認を得て, それを根拠として郵便局に口座開設を申請したい。

#### 1. 規約について:

添付ファイル参照のこと(日本惑星科学会ホームページの会員ページに掲載)。

赤字で会則を訂正したものを規約としている。

## 2. 会則変更案:

<https://www.wakusei.jp/abstract/rule/rule-2021-09-17.html>

の主な変更点は以下のとおりである。

所在地を大阪大学とするのは、財務委員長最寄りの郵貯窓口で手続きを行うためである。

### ・第1章第1条:

変更前: 本会は、日本惑星科学会(The Japanese Society for Planetary Sciences)という。

変更後: 本会は、日本惑星科学会という。英語名称は、The Japanese Society for Planetary Sciencesという。

### ・第1章第4条:

変更前: 本会の事務局は付則に定める場所におく。

変更後: 本会の所在地は付則によって定める。

### ・第4章第14条

1項に(6)を設ける:

1. (6) 本会の予算の承認、及び収支決算の報告と承認は総会において執り行う。

### ・第6章第18条

変更前: 本会則は2009年5月18日から施行する。

変更後: 本会は1992年4月8日に設立し、本会則は2021年9月17日から施行する。

### ・付則1

変更前: 本会の事務局は株式会社イーサイド内におく。

変更後: 本会の所在地は、〒560-0043大阪府豊中市待兼山町1-1 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻内とする。

### ・付則2の削除

削除: 個人または団体は別に定める年額で会誌を定期購読できる。

### ・付則3を2, 4を3に変更

### ・最後の文章を追加

追加文章:

この規約の記載内容について事実と相違ないことを証明します。

兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学大学院理学研究科惑星学専攻

中村 昭子 (印)

総会日程が決まった時点での変更予定箇所:



- ・第6章第18条の会則施行日
- ・会則変更履歴

審議結果:

議題は原案のとおり承認された(可23・否0)。

以上

## ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2021年8月4日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・Harris Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック

## ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a) 場所, (b) 主催者, (c) ウェブページ/連絡先など。

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません。各自でご確認ください。

---

### 2021/11

---

#### 2021年11月9日(火)-11月12日(金)第65回宇宙科学技術連合講演会

- (a) オンライン会場
  - (b) 一般社団法人 日本航空宇宙学会
  - (c) <http://branch.jsass.or.jp/ukaren65/>, 日本航空宇宙学会事務局(E-mail: [snavcom\\_ukaren65@jsass.or.jp](mailto:snavcom_ukaren65@jsass.or.jp))
- 

### 2022/2

---

#### 2022年2月26日(土)-3月4日(金)第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム

- (a) 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ(+オンライン)
- (b) 第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム組織委員会, 一般社団法人 日本航空宇宙学会
- (c) <https://www.ists.or.jp>, 日本航空宇宙学会内 ISTS組織委員会事務局(E-mail: [secretariat@ists.or.jp](mailto:secretariat@ists.or.jp))